

管内	市町村名	新既	学校名	学級数	備考
いわき	いわき市	既	内郷一中	3	増1
		新	内郷二中	2	
		既	好間中	3	
		既	小名浜一中	3	
		既	湯本一中	3	
		新	錦中	3	
			勿来一中	1	新級 2 増級 1 学級数25
	合計			158	

2 各種講習会ならびに研究会等

(1) 特殊教育学習指導法講習会

① 期日、会場

5月12、13日 富岡町立富岡第一中学校
 5月14、15日 福島市立福島第四小学校
 5月26、27日 白河市立白河中央公民館
 5月28、29日 会津若松市立日新小学校

② 講師

東京学芸大学 教授 齋藤 義夫
 福島市立福島養護学校 教頭 中丸 良彦

③ 参加者

富岡会場45名、福島会場42名、白河会場68名、会津会場32名

④ 内容

特殊学級の学級経営の手引きを中心として、教育課程、学級経営等のあり方を第一の柱として本庁指導主事が講義をし、東京学芸大学教授齋藤義夫先生より、世界の特殊教育のようす、日本の特殊教育のようす、特殊教育の指導の仕方と脳生理学について理論的な解説と実際指導と合わせわかりやすく指導いただく。

中丸良彦講師は、特殊教育の歴史の変せん、教育内容と病理、心理とのかかわりあい、指導法について指導があった。

(2) 昭和44年度特殊教育教育課程研究集会

① 期日 昭和44年9月10、11日

② 会場 郡山市立芳山小学校

③ 参加者 小学校80名、中学校40名

④ 内容

○ 課題

数量的指導を効果的に進めるためには、どのように指導計画を作成し、どのように指導したらよいか。

小・中共通テーマで研究会をもつ。小学校においては、伊達・信夫・岩瀬・西白河・南会津・耶麻・いわき・双葉から発表があり、中学校では、安達・田村・東白川・相馬から発表があり、数量・指導をどうすべきかということで、研究協議を行なった。

(3) 昭和44年度心身障害判別講習会

① 期日 昭和44年11月25日～12月2日

② 会場 会津若松市立第二中学校、郡山市立橘小

3 長期研修派遣

(1) 言語障害教育部門

① 期間 1年間

③ 場所 仙台市立通町小学校

③ 派遣 郡山市立宮城中学校教諭 加藤 誠子

(2) 精神薄弱教育部門

① 期間 6ヵ月

② 場所 東京教育大学

③ 派遣 双葉郡富岡町立富岡第一中学校教諭 井戸川 茂
 会津若松市立城北小学校教諭 諸橋 悦宗
 大沼郡新鶴村立新鶴中学校教諭 齋藤 文雄

(3) 特殊学校部門

① 期間 6ヵ月

② 場所 東京学芸大学

③ 派遣 福島市立福島養護学校教諭 吉川 浩先

4 研究指定校

(1) 文部省特殊教育教育課程研究指定校（特殊学級）

① 指定 昭和43年5月15日

② 指定校 郡山市立芳山小学校

③ 期間 2ヵ年間

高等学校教育課

本年度に実施された研究大会等のおもなるもの

1 特殊教育学習指導法講習会（聾部会）

(1) 期日 昭和44年11月18日

(2) 会場 県立平糺学校

(3) 参加者 平・郡山・会津・福島校より40名

(4) 内容 聾学校における学習指導上の問題点を究明し、指導技術の改善向上をはかる。

文部省教科調査官北原一敏先生の指導により聾教育の現場の問題を小さいことまで協議した。

県教委主催のこの種の講習会ははじめてである。

2 教育課程研究集会（全国） — 文部省主催

(1) 期日 昭和44年11月26、27日

(2) 会場 国立教育会館

(3) 参加者 4名

3 教育課程研究集会（地区） — 文部省主催

(1) 期日 昭和44年8月27日～29日

(2) 会場 前橋市

(3) 参加者 8名

4 寮母講習会 — 文部省主催

(1) 期日 昭和44年8月25日～27日

(2) 会場 千葉市

(3) 参加者 10名

5 長期研修派遣

東京教育大学へ、44年4月から45年3月まで1名（聾教育）を派遣した。